

第5回ワークショップ「海洋環境影響を評価するアッセイ法に関する最新の話題」 研究発表・参加のご案内

2008年7月に神戸で開催された「第14回海洋腐食と生物汚損国際会議(ICMCF)」を発端として、2009年11月に函館で第1回WSを、2011年9月に千葉工大で第2回WSを、2013年9月に神戸大学で第3回WSを、そして2015年に函館国際水産・海洋総合研究センターで第4回WSを開催し、生物の付着機構、船底防汚塗料、防汚剤の環境影響、生物越境移動問題について活発な討論が行われました。近年、船底防汚塗料を始めとする船舶起源の化学物質は、地球温暖化防止や外来生物の越境移動問題とも関連して世界的にも重要性を増しています。また陸上起源の化学物質についても、それらが海洋環境に及ぼす影響についても関心が高まっており、これら物質による環境への影響を正しく評価するためには、アッセイ法の構築が重要となります。そこで、ディシプリンの異なる研究者がより深く議論するために、塗料はもとより海洋環境に関する研究発表の場として、下記の通り、第5回WSを企画しました。JIMEおよび日本付着生物学学会会員の皆様はもとより、ご関心をお持ちの皆様方の積極的なご参加をお願い申し上げます。なお、WS終了後にJIME学会誌に特集号を編集する予定です。皆様からの情報発信を大いに期待しております。

海洋環境研究委員会 委員長 小島 隆志

記

主催：公益社団法人 日本マリンエンジニアリング学会 (JIME) 海洋環境研究委員会

共催：日本付着生物学学会

開催日時：2018年11月29日(木) - 30日(金)

開催場所：鹿児島大学附属図書館水産学部分館1Fセミナールーム 〒890-0056 鹿児島市下荒田4丁目50-20

会場へのアクセス <https://www.lib.kagoshima-u.ac.jp/ja/access>

プログラム (最終版は11月中旬に両学会のホームページ (<http://www.jime.jp/> <http://www.sos.j.jp/>) に掲載予定。)

第1日目 (11月29日)：研究講演会およびエクスカージョン (1)

9:30～ : 受付

10:00～11:40 : セッション1 (基調講演1：宇野誠一 (鹿児島大), 一般講演：10分講演+質疑応答5分)

13:00～14:40 : セッション2 (基調講演2：松村清隆 (北里大), 一般講演：10分講演+質疑応答5分)

14:50～16:00 : エクスカージョン1：鹿児島大学水産学部 (調整中)

18:00～20:00 : 技術交流会 (調整中)

第2日目 (11月30日)：研究講演会およびエクスカージョン (2)

9:30～ : 受付

10:00～11:40 : セッション3 (基調講演3：鈴木祥広 (宮崎大), 一般講演：10分講演+質疑応答5分)

13:00～15:00 : エクスカージョン2：いおワールドかごしま水族館 (案) (※入館料は当日お支払い頂きます。)

参加費(当日徴収, 税込)：正会員 (JIMEおよび付着生物学学会) 参加登録費 3,000円 (学生会員無料, 学生非会員1,000円, 非会員6,000円), 技術交流会費 4,000円 (学生会員 1,000円), 展示ブース出展費 20,000円

研究発表申込締切： 2018年10月19日

発表要旨提出締切： 2018年11月2日

参加申込締切： 2018年11月9日

WS実行委員会：小島隆志(海上技術安全研究所), 大地まどか(東京農工大学), 北村徹(日本NUS), 島田守(日本ペイントマリン), 野方靖行(電力中央研究所), 張野宏也(神戸女学院大学), 永井則安(日本NUS), 南清和(東京海洋大), 日比慶久(東海大), 北野克和(東京農工大学), 勝山一郎(日本NUS), 広松和親(オイスカ), 宇野誠一(鹿児島大学)

申込先・問合せ：東京農工大学 大地まどか ohji@cc.tuat.ac.jp

第5回ワークショップ「海洋環境影響を評価するアッセイ法に関する最新の話題」

2018年11月29日-30日

研究発表・参加申込書

参加者一名につき一枚を、下記あてにお送り下さい。

研究発表申込締切：2018年10月19日、参加申込締切：2018年11月9日

以下の通り、ワークショップへの参加を申し込みます。

申込者氏名：

所属機関名：

連絡先住所：

Tel：

Fax：

E-mail：

1. ワークショップに : 参加する (正会員 (共催含) 学生会員 学生非会員 非会員)
2. 技術交流会に : 参加する (会費 4,000 円、学生 1,000 円)
3. 研究発表を : する しない
4. 展示ブースに出展 : する しない
5. 研究発表する場合の演題と発表者

演 題：

発表者名 (所属) (発表者の左肩に○)：

6. 以下の費用を「○」で選択してください。合計額を当日、徴収いたします。

参加登録費 1,000 円 3,000 円 6,000 円

技術交流会費 1,000 円 4,000 円

展示ブース 20,000 円 (1 名分の参加登録費と技術交流会費を含む)

合計額 円 (必ず、ご記入ください)

7. その他

- ・招待講演は、決まり次第、学会HPにてお知らせします。
- ・11月中旬に、プログラムを付した発表要旨集を作成し、参加登録済の参加者には、事前にpdfファイル配布する予定です。印刷物は作成しませんので、当日は各自、ご持参ください。
- ・研究発表される方も、2018年11月9日までに、参加申込み（ワークショップおよび技術交流会）をお願いします。
- ・展示ブースでの展示は終日可能です。展示方法等の詳細は、個別に相談に応じます。

研究発表申込・参加申込・問い合わせ先：

大地まどか、東京農工大学 ohji@cc.tuat.ac.jp

発表要旨の作成方法と送付

以下の要領で、発表要旨を作成し、2018年11月2日までに、下記あてに電子送信して下さい。

発表要旨作成の要領

1. ページ数は、A4、1ページを原則とします。
2. マージンとして、上下2.0cm、左右2.0 cmをとって下さい。
3. 上から演題、氏名（所属）とし（これらは中央に配置）、1行空けて、本文（左詰め）の順に記載して下さい。登壇者には、氏名の左上に○を付して下さい。
4. 演題はフォントサイズ14のMSゴシック体、氏名・所属はフォントサイズ12のMSゴシック体、要旨本文はフォントサイズ12のMS明朝体、を原則として下さい。
5. 本文は、研究目的、実験材料と方法、結果と考察の順に、分かりやすくまとめて下さい。
6. カラー写真、カラー図表の使用が可能です。
7. 必要があれば、最後に引用文献を加えて下さい。

発表要旨原稿の送付方法

1. 要旨のファイルは、2018年11月2日までに、下記宛に電子メールでお送り下さい。
2. 要旨はMS-Wordのドキュメント形式(.docまたは.docxファイル)で作成ください。pdfファイルは不可とします。
3. 要旨集作成の都合上、原稿のファイルに一部手を加えることがあります。

発表要旨の提出先：

北村 徹, 日本エヌユーエス tkitamura@janus.co.jp